

四半期報告書

(第26期第3四半期)

株式会社アイフィスジャパン

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	
第一部 【企業情報】	1
第1 【企業の概況】	1
1 【主要な経営指標等の推移】	1
2 【事業の内容】	1
第2 【事業の状況】	2
1 【事業等のリスク】	2
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	2
3 【経営上の重要な契約等】	3
第3 【提出会社の状況】	4
1 【株式等の状況】	4
2 【役員の状況】	5
第4 【経理の状況】	6
1 【四半期連結財務諸表】	7
2 【その他】	12
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	13

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月11日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	株式会社アイフィスジャパン
【英訳名】	IFIS JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 大沢 和春
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 大澤 弘毅
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 大澤 弘毅
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第3四半期連結 累計期間	第26期 第3四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	4,184,323	3,992,331	5,564,131
経常利益 (千円)	670,549	487,939	864,253
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	439,073	307,933	570,086
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	435,292	307,474	568,341
純資産額 (千円)	3,942,726	4,209,376	4,075,776
総資産額 (千円)	4,688,974	4,983,429	4,904,580
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	45.45	31.88	59.02
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	84.1	84.5	83.1

回次	第25期 第3四半期連結 会計期間	第26期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.67	9.21

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞により、大きなマイナスの影響を受けました。国内においては、緊急事態宣言解除後、徐々に経済活動が再開されつつも、国内外ともに依然として感染拡大は続いており、経済の見通しは予断を許さない状況にあります。当社事業と関連性が高い証券市場や投資信託市場においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時株価は急落し、投資信託の純資産総額も大幅に減少する状況となりました。しかし、その後の日経平均株価は徐々に回復し、23,000円台まで上昇、投資信託の純資産総額も株価の上昇を受け、期首を上回る水準となっております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,992百万円（前年同期比191百万円減、4.6%減）、営業利益は480百万円（前年同期比186百万円減、27.9%減）となりました。また、経常利益は、487百万円（前年同期比182百万円減、27.2%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発案件は好調を継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も堅調に推移しております。一方、証券会社向けレポート作成システムなどのソリューションが伸びず、また人員体制増強により、販売費及び一般管理費が増加しております。

その結果、売上高は1,019百万円（前年同期比21百万円減、2.1%減）、営業利益は389百万円（前年同期比78百万円減、16.8%減）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスを中心に売上を大きく伸ばすとともに、企業年金関連のソリューションサービスも、新たにロボットアドバイザーアプリの提供を開始するなど、堅調に業績に寄与しております。一方、グループ会社の株式会社東京ロジプロ、株式会社アイコスなど非金融向け顧客比率の高いサービスについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞の影響を大きく受け、減収減益となっております。

その結果、売上高は1,352百万円（前年同期比24百万円減、1.7%減）、営業利益は100百万円（前年同期比60百万円減、37.4%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の停滞の影響を受け、公募投資信託の本数及び新規設定本数の減少が続いており、当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で減少しております。また新ソリューション展開のための費用の増加もあり、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は1,073百万円（前年同期比95百万円減、8.1%減）、営業利益は221百万円（前年同期比57百万円減、20.6%減）となりました。

< I Tソリューション事業 >

主力事業である、事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は第1四半期までは堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による停滞が影響し、前年同期比で減収となっております。しかし、販売費及び一般管理費の削減、改善により収益は増益となりました。

その結果、売上高は546百万円（前年同期比51百万円減、8.5%減）、営業利益は27百万円（前年同期比11百万円増、70.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、4,983百万円となりました。

流動資産合計は134百万円増加し、4,330百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が202百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が43百万円、仕掛品が16百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は56百万円減少し、652百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により43百万円減少したことに加え、ソフトウェアが償却により13百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、774百万円となりました。

流動負債は56百万円減少し、647百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が60百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の126百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、4,209百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益307百万円の計上による増加と、剰余金の配当173百万円による減少であります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,920,000
計	33,920,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,242,000	10,242,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	10,242,000	10,242,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	10,242,000	—	382,510	—	438,310

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 582,300	—	単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,658,000	96,580	同上
単元未満株式	普通株式 1,700	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	10,242,000	—	—
総株主の議決権	—	96,580	—

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が5株含まれております。

② 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アイフィスジャパン	東京都千代田区西神田 三丁目1番6号	582,300	—	582,300	5.69
計	—	582,300	—	582,300	5.69

(注) 1. 上記自己保有株式には、単元未満株式5株は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間末日現在の自己保有株式数は582,305株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,540	3,752,215
受取手形及び売掛金	523,956	480,602
仕掛品	65,675	49,274
その他	56,760	48,772
流動資産合計	4,195,932	4,330,864
固定資産		
有形固定資産	64,428	64,380
無形固定資産		
のれん	285,447	242,076
ソフトウェア	109,285	95,376
ソフトウェア仮勘定	4,043	5,164
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	400,246	344,087
投資その他の資産	243,973	244,096
固定資産合計	708,648	652,564
資産合計	4,904,580	4,983,429
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,511	198,957
未払法人税等	135,528	74,993
賞与引当金	16,471	59,536
その他	340,192	313,661
流動負債合計	703,703	647,149
固定負債		
退職給付に係る負債	15,117	16,920
その他	109,982	109,982
固定負債合計	125,100	126,903
負債合計	828,804	774,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,327,176	3,461,235
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	4,070,020	4,204,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△368	△375
為替換算調整勘定	6,123	5,672
その他の包括利益累計額合計	5,755	5,297
純資産合計	4,075,776	4,209,376
負債純資産合計	4,904,580	4,983,429

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,184,323	3,992,331
売上原価	2,505,539	2,429,534
売上総利益	1,678,783	1,562,796
販売費及び一般管理費	1,012,079	1,082,335
営業利益	666,704	480,460
営業外収益		
受取利息	769	705
受取配当金	163	98
持分法による投資利益	2,025	1,519
助成金収入	1,820	6,600
その他	843	1,361
営業外収益合計	5,622	10,284
営業外費用		
為替差損	1,765	2,748
その他	11	58
営業外費用合計	1,776	2,806
経常利益	670,549	487,939
特別損失		
固定資産除却損	5	25
特別損失合計	5	25
税金等調整前四半期純利益	670,544	487,914
法人税、住民税及び事業税	208,934	181,094
法人税等調整額	22,536	△1,114
法人税等合計	231,470	179,980
四半期純利益	439,073	307,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,073	307,933

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	439,073	307,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,707	△451
その他の包括利益合計	△3,781	△458
四半期包括利益	435,292	307,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,292	307,474

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	37,770千円	43,882千円
のれんの償却額	43,517	43,371

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月20日 定時株主総会	普通株式	77,278	8.0	2018年12月31日	2019年3月22日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月19日 定時株主総会	普通株式	173,874	18.0	2019年12月31日	2020年3月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	1,041,642	1,376,684	1,168,380	597,616	—	4,184,323	—	4,184,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,256	—	39,583	—	45,840	△45,840	—
計	1,041,642	1,382,940	1,168,380	637,199	—	4,230,163	△45,840	4,184,323
セグメント利益又は 損失(△)	468,510	161,147	279,370	16,307	—	925,335	△258,631	666,704

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,631千円には、セグメント間取引消去△5,983千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△252,648千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

より事業の実態に即した採算管理を行うため、第1四半期連結会計期間より、「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ イスクロー ジャー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	1,019,833	1,352,631	1,073,260	546,605	—	3,992,331	—	3,992,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,100	4,531	—	34,056	—	43,687	△43,687	—
計	1,024,933	1,357,162	1,073,260	580,661	—	4,036,019	△43,687	3,992,331
セグメント利益又は 損失（△）	389,755	100,833	221,899	27,876	—	740,365	△259,904	480,460

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△259,904千円には、セグメント間取引消去△370千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△259,533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	45円45銭	31円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	439,073	307,933
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	439,073	307,933
普通株式の期中平均株式数(株)	9,659,753	9,659,695

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月10日

株式会社アイフィスジャパン
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 大 竹 貴 也 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 古 川 真 之 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイフィスジャパンの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイフィスジャパン及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月11日
【会社名】	株式会社アイフィスジャパン
【英訳名】	IFIS JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 大沢 和春
【最高財務責任者の役職氏名】	取締役 管理担当 大澤 弘毅
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役 大沢和春及び当社最高財務責任者 取締役管理担当 大澤弘毅は、当社の第26期第3四半期（自2020年7月1日 至 2020年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。